

景況・経営動向調査結果

— 平成24年度 第3四半期（10～12月期） —

■ 目 的 ■

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

■ 調査対象 ■

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社（回答285社、回収率71.3%）

※業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

■ 調査期間 ■

平成24年12月19日～平成25年1月16日

■ 調査方法 ■

郵送・E-mailによるアンケート方式

■ 分析方法 ■

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 ＝ 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 ⇒ 従業員20人以下、商業・サービス業 ⇒ 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

10～12月期実績は、全産業ベースで▲34.0（前回調査比+3.7）

1～3月期の見通しは、全産業ベースで▲28.3（今期実績比+5.7）

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業では大幅に改善し、非製造業でもサービス業以外の業種で改善するなど、全産業ベースでは▲34.0（前回（9月）調査比+3.7）とマイナス幅が縮小した。

一方1～3月期の見通しは、製造業で今期実績と同水準、非製造業では6.6ポイントの改善が見込まれており、全産業ベースでは▲28.3と5.7ポイントの改善見込みとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

10～12月期実績は、全産業ベースで▲24.3（前回調査比+4.8）

1～3月期の見通しは、全産業ベースで▲25.0（今期実績比-0.7）

■売上・生産額	今期実績▲25.3（-1.4）	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
■利益・採算面	今期実績▲26.9（+3.3）	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
■資金繰り	今期実績▲17.0（+3.3）	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
■設備投資	今期実績▲24.9（+0.5）	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
■雇用状況	今期実績 ▲5.4（-3.2）	来期は不足感が強まる見込み
■経営上の問題点	全産業ベースで15期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ	

※ 上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 <<自社業況の総合判断：前年同期比>>

	10～12月期 実績		1～3月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 24.3		▲ 25.0
製造業		▲ 39.4		▲ 43.7
非製造業		▲ 22.2		▲ 22.5
建設業		▲ 11.4		▲ 4.6
卸売業		▲ 24.2		▲ 34.5
小売業		▲ 26.8		▲ 33.8
サービス業		▲ 22.6		▲ 16.7
小規模企業等		▲ 30.3		▲ 26.2

- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上～100
	25以上～50未満
	0以上～25未満
	▲25以上～0未満
	▲50以上～▲25未満
	▲100～▲50未満

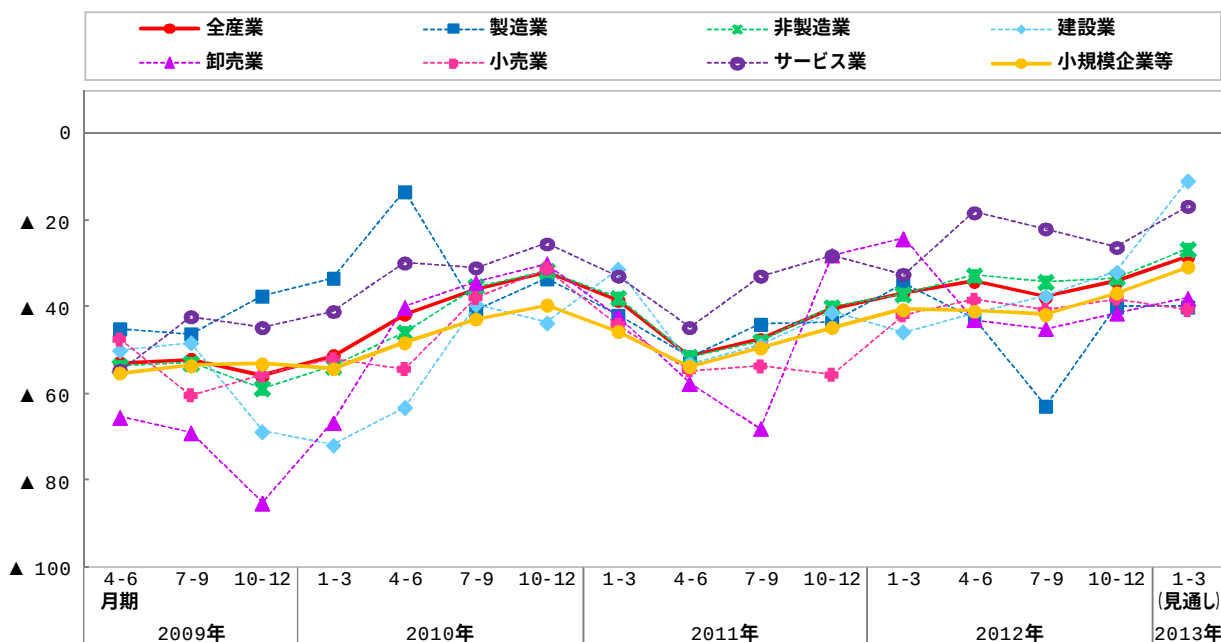
前年同期（2011年10～12月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲34.0（前回調査比+3.7）

業種別にみると製造業は食料品や印刷などの改善から▲40.0（同+22.8）とマイナス幅が大幅に縮小した。一方、非製造業ではサービス業（同-4.3）以外の業種で改善し、非製造業全体では▲33.2（同+1.0）とマイナス幅が縮小した。結果、全産業ベースでは2期ぶりに改善した。

また、小規模企業等は▲36.7（同+5.0）と3期ぶりに改善した。

BSI：「上昇」－「低下」



2013年1～3月期 見通し
全産業 ▲28.3（今期実績比+5.7）

製造業は▲40.0と今期と同水準の見通し。一方、非製造業では小売業（同-2.6）以外の業種で改善が見込まれており、とりわけ建設業（同+21.0）で大幅改善が見込まれるなど、非製造業全体では▲26.6と6.6ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.7ポイントの改善が見込まれる。

また、小規模企業等は▲30.7と今期と比べ6.0ポイントの改善を見込んでいる。

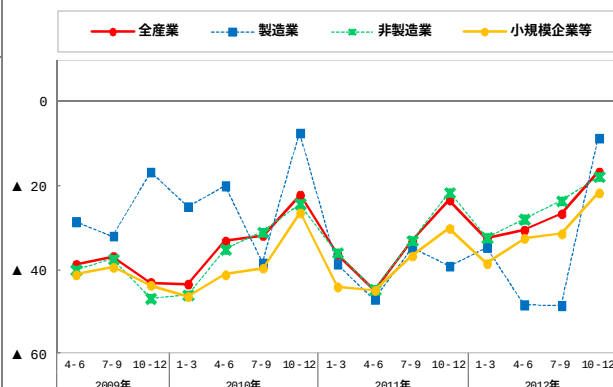
前期（2012年7～9月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲16.7（前回調査比+10.0）

業種別にみると製造業は食料品や印刷の改善などから▲8.6（同+40.0）と急激に改善した。一方、非製造業では卸売業（同-20.1）で大幅に悪化したものの、それ以外の業種では改善し、非製造業全体では▲17.8（同+5.8）と3期連続でマイナス幅が縮小した。

また、小規模企業等は▲21.7（同+9.8）と3期連続で改善した。

BSI：「上昇」－「低下」



2

自 社 業 況 の 総 合 判 断

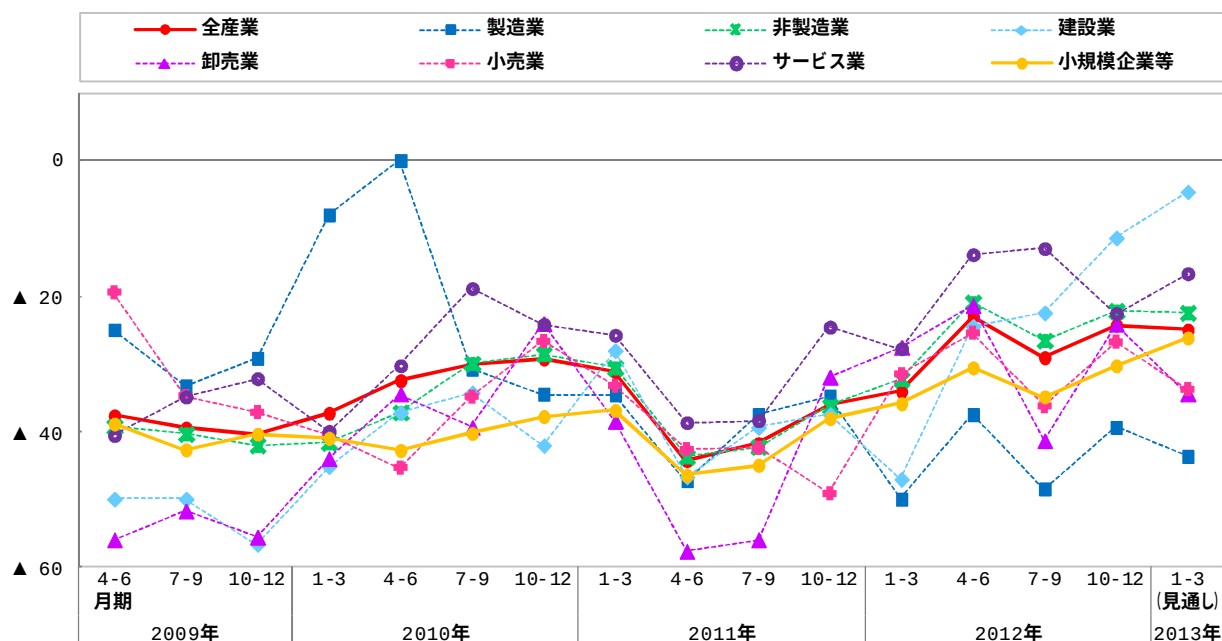
前年同期（2011年10～12月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲24.3〔前回調査比+4.8〕

業種別にみると製造業は輸送機械や印刷の改善などから▲39.4（同+9.1）とマイナス幅が縮小した。一方、非製造業ではサービス業（同-9.6）以外の業種で改善し、とりわけ卸売業（同+17.2）の改善幅が大きく、非製造業全体では▲22.2（同+4.4）とマイナス幅が縮小した。

また、小規模企業等は▲30.3（同+4.6）と改善した。

BSI：「上昇」－「低下」



2013年1～3月期 見通し
全産業 ▲25.0〔今期実績比-0.7〕

製造業は一般機械で悪化が見込まれるなど▲43.7と今期と比べて4.3ポイントの悪化見込み。一方、非製造業では卸売業（同-10.3）、小売業（同-7.0）で悪化が見込まれるなど、非製造業全体では▲22.5と0.3ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは0.7ポイントの悪化を見込んでいる。

また、小規模企業等は▲26.2と今期と比べて4.1ポイントの改善を見込んでいる。

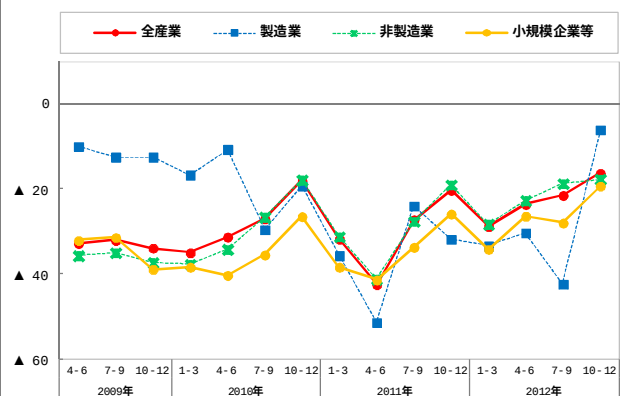
前期（2012年7～9月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲16.3〔前回調査比+5.2〕

業種別にみると製造業は印刷や金属製品、輸送機械の改善などから▲6.1（同+36.3）と急激に改善した。一方、非製造業では卸売業（同-16.6）で大幅に悪化したものの、小売業（同+10.3）の大幅改善もあり、▲17.7（同+1.0）と3期連続で改善した。

また、小規模企業等は▲19.3（同+8.7）とマイナス幅が縮小した。

BSI：「上昇」－「低下」



3

売上・生産額

前年同期（2011年10～12月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲25.3（前回調査比-1.4）

業種別にみると製造業は▲25.7（同+20.0）と大幅に改善した。一方、非製造業では卸売業（同+10.3）で大きく改善したものの、建設業（同-14.5）、サービス業（同-13.5）で大幅に悪化し、非製造業全体では▲25.2（同-4.4）と2期連続でマイナス幅が拡大した。

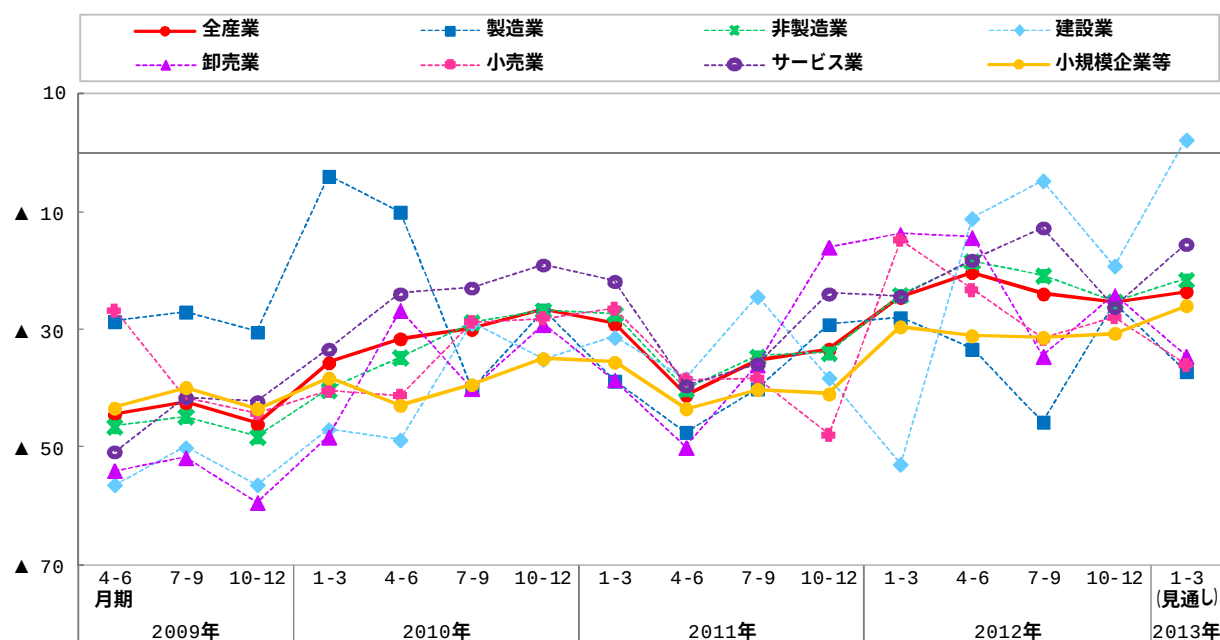
また、小規模企業等は▲30.6（同+0.7）と小幅ながらマイナス幅が縮小した。

2013年1～3月期 見通し
全産業 ▲23.5（今期実績比+1.8）

今期大幅に改善した製造業では▲37.1と11.4ポイントもの悪化が見込まれる。一方、非製造業では建設業（同+21.4）、サービス業（同+10.7）で大幅な改善が見込まれるなど、非製造業全体では▲21.5と3.7ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは1.8ポイントの改善見込みとなった。

また、小規模企業等は▲25.9と今期と比べて4.7ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「増加」－「減少」



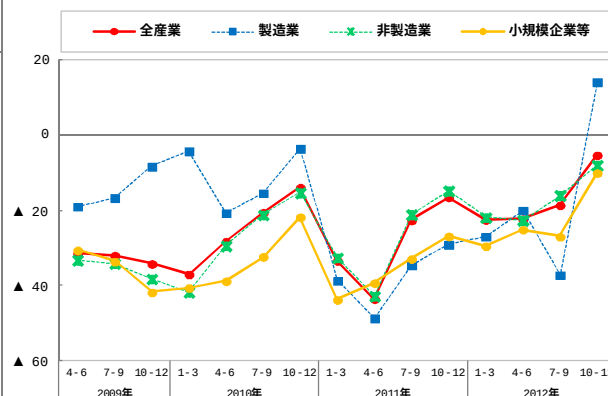
前期（2012年7～9月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲5.3（前回調査比+13.3）

業種別にみると製造業は14.2（同+51.4）と急激に改善し、プラス水準（「増加」超）に転じた。一方、非製造業では卸売業（同-23.4）以外の業種で改善し、とりわけ小売業（同+20.7）で大幅改善するなど、非製造業全体では▲8.0（同+8.0）と改善した。

また、小規模企業等は▲10.0（同+17.0）とマイナス幅が大幅に縮小した。

BSI：「増加」－「減少」



前年同期（2011年10～12月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲26.9〔前回調査比+3.3〕

業種別にみると製造業は▲31.3（同-4.0）とマイナス幅が拡大した。一方、非製造業では、前回調査で大きく落ち込んだ小売業（同+15.2）で大幅に改善し、卸売業（同+6.1）では過去最高値となるなど、非製造業全体では▲26.3（同+4.3）とマイナス幅が縮小した。

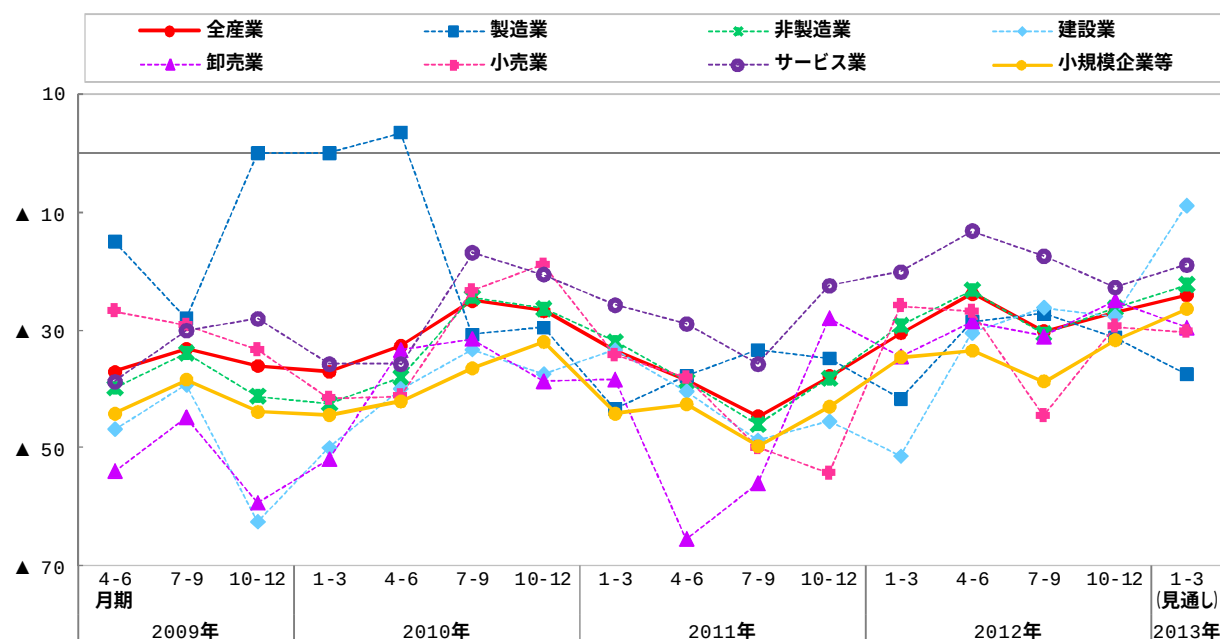
また、小規模企業等は▲31.7（同+7.0）とマイナス幅が縮小した。

2013年1～3月期 見通し
全産業 ▲24.1〔今期実績比+2.8〕

製造業は▲37.5と今期と比べて6.2ポイントの悪化が見込まれる。一方、非製造業では今期実績で大幅悪化となった建設業（同+18.8）で大幅な改善見込みとなるなど、非製造業全体では▲22.3と4.0ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは2.8ポイントの改善見込みとなった。

また、小規模企業等は▲26.4と今期と比べて5.3ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「好転」－「悪化」



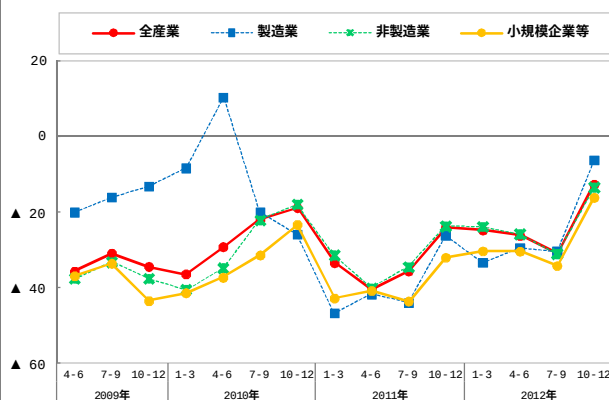
前期（2012年7～9月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲12.6〔前回調査比+18.2〕

業種別にみると製造業は▲6.2（同+24.1）と急激に改善した。一方、非製造業では全ての業種で改善し、とりわけ小売業（同+31.0）で大きく改善するなど、非製造業全体では▲13.4（同+17.6）とマイナス幅が大幅に縮小した。

また、小規模企業等は▲16.1（同+18.1）と大きく改善した。

BSI：「好転」－「悪化」



前年同期（2011年10～12月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲17.0〔前回調査比+3.3〕

業種別にみると製造業で▲6.1（同+9.5）とマイナス幅が縮小した。一方、非製造業ではサービス業（同-11.1）以外の業種で改善し、とりわけ建設業（同+13.1）ではマイナス幅が大きく縮小し過去最高値となるなど、非製造業全体では▲18.6（同+2.2）と改善した。

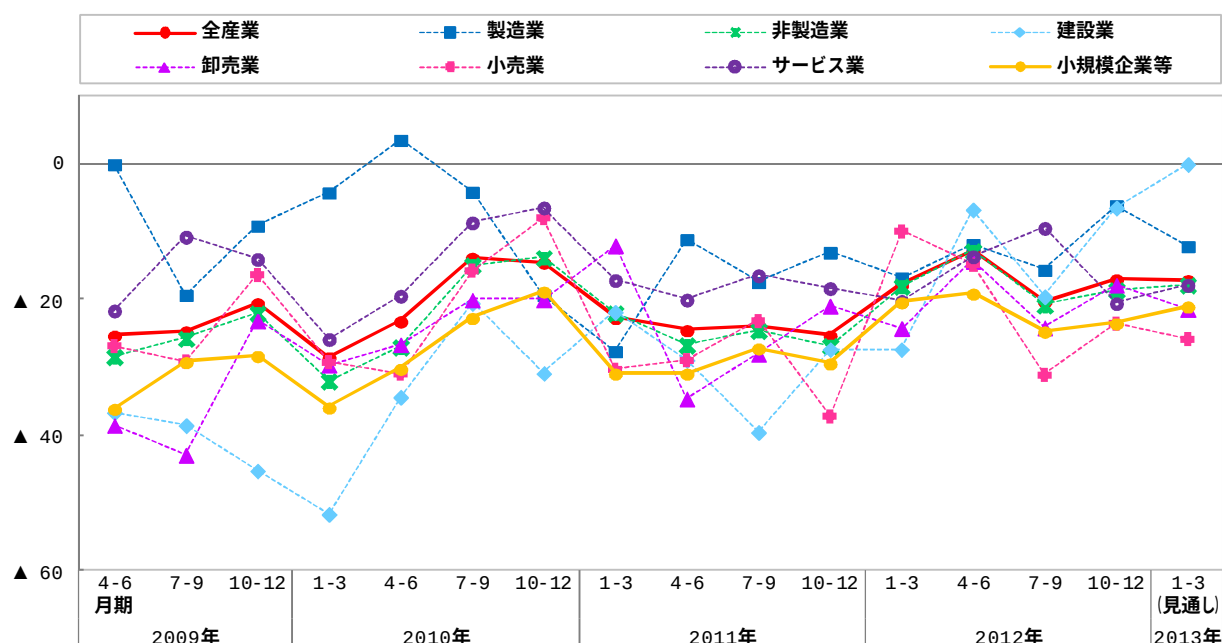
また、小規模企業等は▲23.5（同+1.2）と小幅ながら改善した。

2013年1～3月期 見通し
全産業 ▲17.1〔今期実績比-0.1〕

製造業は▲12.1と今期と比べ6.0ポイントの悪化が見込まれている。一方、非製造業では建設業（同+6.4）、サービス業（同+2.7）で改善が見込まれるなど、非製造業全体では▲17.8と0.8ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは、0.1ポイントの悪化見込みとなった。

また、小規模企業等は▲21.0と今期と比べて2.5ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「好転」－「悪化」



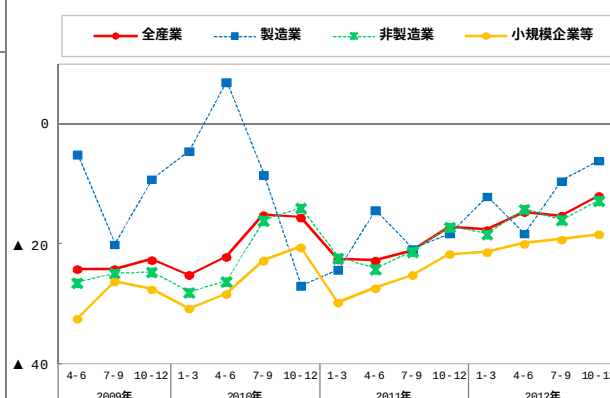
前期（2012年7～9月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲11.9〔前回調査比+3.3〕

業種別にみると製造業は▲6.0（同+3.4）と改善した。一方、非製造業ではサービス業（同-10.7）で大幅に悪化したものの建設業（同+22.1）で大きく改善するなど、非製造業全体では▲12.7（同+3.2）とマイナス幅が縮小した。

また、小規模企業等は▲18.3（同+0.9）と小幅ながら7期連続で改善した。

BSI：「好転」－「悪化」



前年同期（2011年10～12月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲24.9〔前回調査比+0.5〕

業種別にみると製造業は▲26.5（同+11.7）と大幅に改善した。一方、非製造業では卸売業（同+22.2）で大きく改善したものの、それ以外の業種でマイナス幅が拡大し、非製造業全体では▲24.7（同-1.1）と悪化した。結果、全産業ベースでは小幅ながらマイナス幅が縮小した。

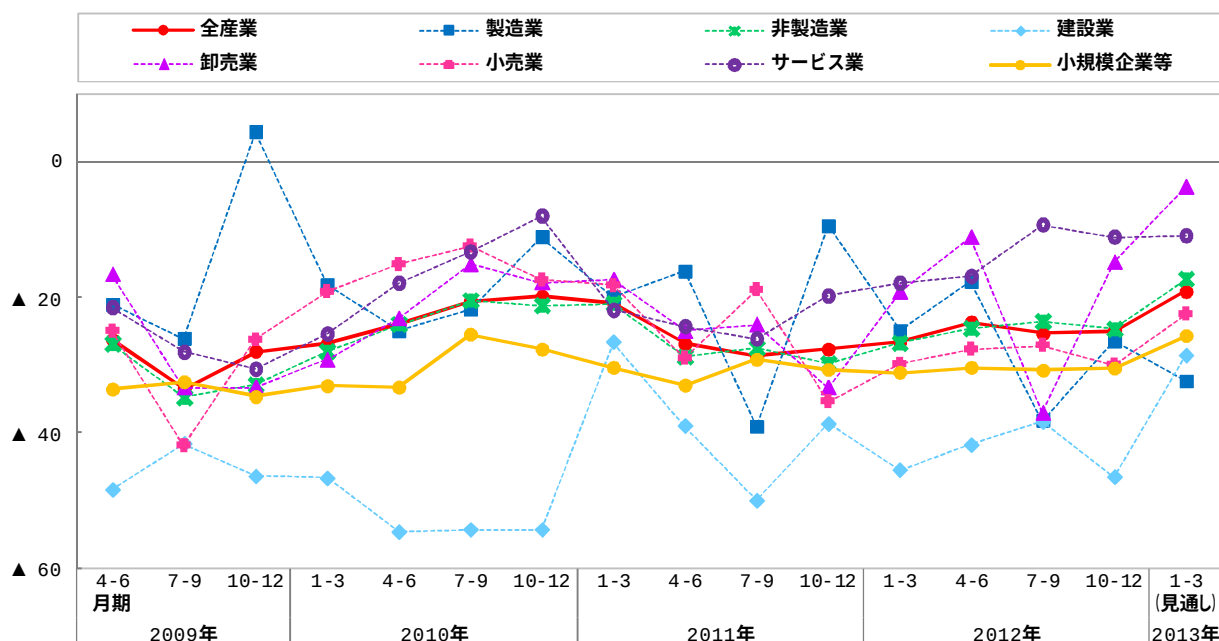
また、小規模企業等は▲30.5（同+0.3）と僅かに改善した。

2013年1～3月期 見通し
全産業 ▲19.2〔今期実績比+5.7〕

製造業は▲32.4と今期と比べ5.9ポイントの悪化が見込まれる。一方、非製造業では建設業（同+17.9）で大幅な改善見込みとなるなど全ての業種で改善が見込まれており、非製造業全体では▲17.3と7.4ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは5.7ポイントの改善見通しとなった。

また、小規模企業等は▲25.7と今期と比べて4.8ポイントの改善を見込んでいる。

BSI：「増加」－「減少」



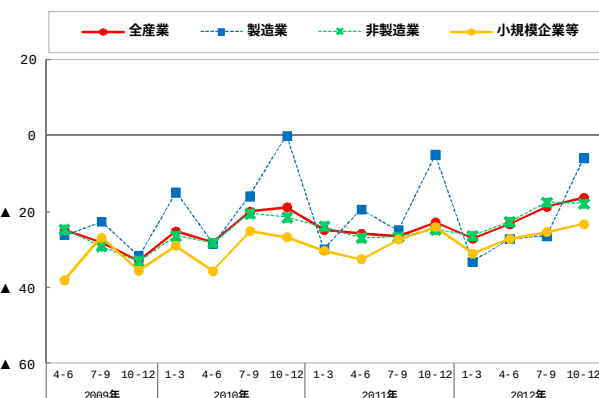
前期（2012年7～9月期）と比較して

2012年10～12月期 実績
全産業 ▲16.4〔前回調査比+2.4〕

業種別にみると製造業は▲5.9（同+20.6）と大幅に改善した。一方、非製造業では卸売業（同+9.8）で改善したものの、非製造業全体では▲18.0（同-0.4）と僅かに悪化した。結果、全産業ベースでは3期連続でマイナス幅が縮小し、過去最高値となった。

また、小規模企業等は▲23.4（同+2.0）と3期連続で改善し、過去最高値となった。

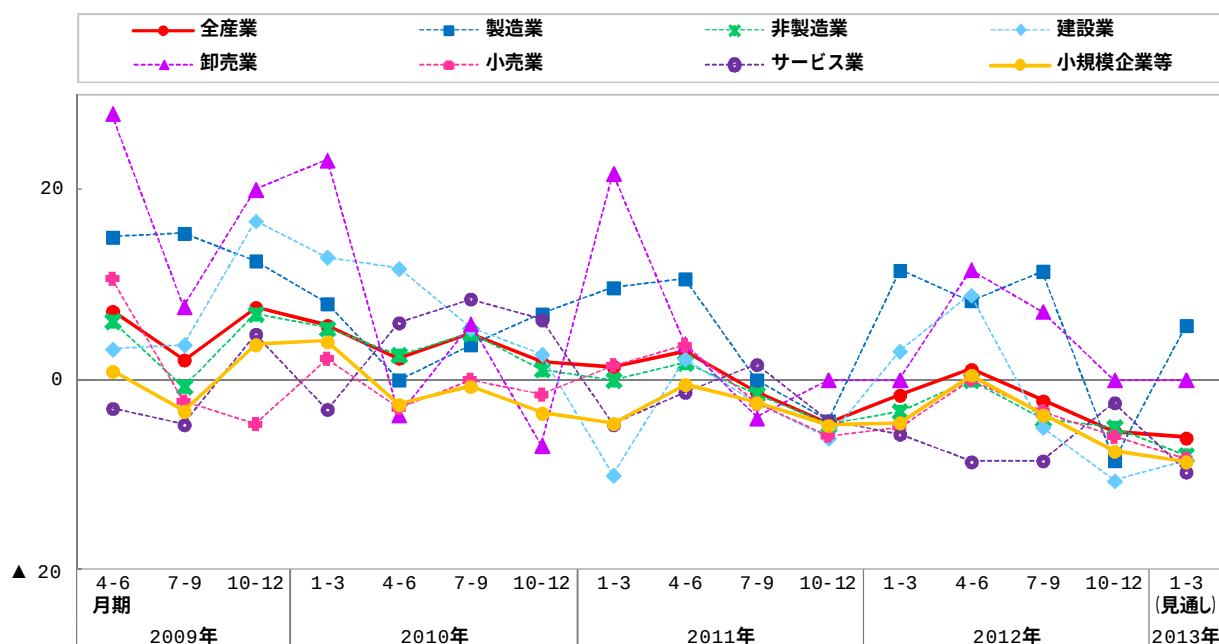
BSI：「増加」－「減少」



前年同期（2011年10～12月期）と比較して

2012年10～12月期 実績	2013年1～3月期 見通し
全産業 ▲5.4（前回調査比－3.2）	全産業 ▲6.1（今期実績比－0.7）
業種別にみると製造業は「過剰」とする割合が大幅に減り、▲8.5（同－19.9）とマイナス水準（「不足」超）に転じた。一方、非製造業では卸売業（同－7.2）で±0と「過剰」とする割合が減るなど、非製造業全体では▲5.0（同－0.9）と「不足」とする割合が僅かに増えた。 また、小規模企業等は▲7.5（同－3.8）と「不足」とする割合が増えた。	製造業は5.7と今期と比べて「不足」とする割合が大幅に減り、再びプラス水準（「過剰」超）に転じる見込み。一方、非製造業ではサービス業で「不足」とする割合が増えるなど、非製造業全体では▲7.9と「不足」とする割合が増える見込み。結果、全産業ベースではマイナス水準（「不足」超）で推移する見通し。 また、小規模企業等では▲8.6と「不足」とする割合が増える見通し。

BSI：「過剰」－「不足」



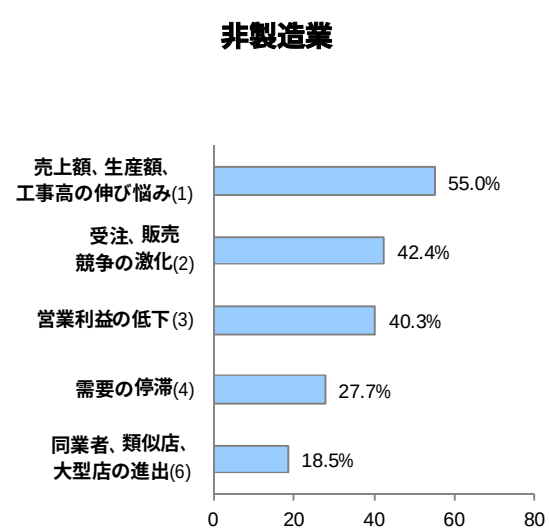
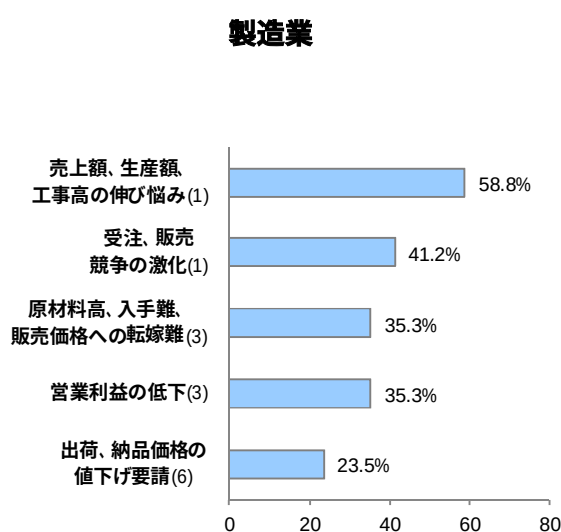
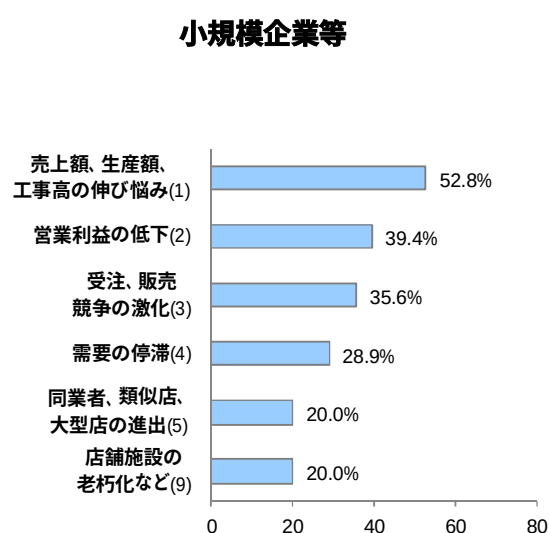
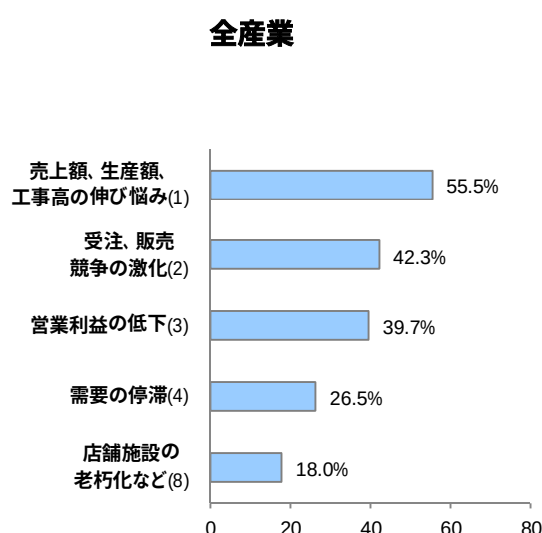
前期（2012年7～9月期）と比較して

2012年10～12月期 実績	BSI：「過剰」－「不足」
全産業 ▲6.8（前回調査比－3.5）	
業種別にみると製造業で▲2.9（同－11.5）と「過剰」とする割合が大幅に減り、マイナス水準（「不足」超）に転じた。一方、非製造業ではサービス業以外の業種で「不足」とする割合が増えるなど、非製造業全体では▲7.4（同－2.4）と「不足」とする割合が増えた。 また、小規模企業等は▲7.0（同－1.0）と「不足」とする割合が増えた。	30 10 ▲ 10 2009年 2010年 2011年 2012年 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 全産業 製造業 非製造業 小規模企業等

8 経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースでみると、トップは「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（55.5%）」。前回調査から4.6ポイント増加し、2009年4～6月期の調査開始以来15期連続でのトップで非常に根深い問題点となっている。

その他の特徴的な傾向として、製造業では「原材料高、入手難、販売価格への転嫁難（35.3%）」が前回同様第3位となった。また、小規模企業等では「店舗施設の老朽化など（20.0%）」の回答割合が増え、全産業ベースでも第5位となった。



※ 各項目の括弧内の数字は前回（9月）調査時の順位